

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>主要地方道岩手平舘線の歩行スペース確保について 当該路線は、岩手町の中心部に位置し、周辺に学校、病院、住宅が密集しており、通勤、通学、通院並びに買い物等の日常生活に欠かせない重要な路線として活用されています。</p> <p>大町地区から新町地区間については、街路整備事業により歩道が整備されておりますが、そのほかの地区については歩道がない状況となっております。</p> <p>新町城山地区には小学校、保育園があり、通学路でありながら歩道が設置されておらず、朝夕の通勤時間帯では交通量も多いことから、通学・通園等歩行者が非常に危険な状態があります。</p> <p>野口町地区については、平成19年に小学生の死亡事故が発生していることもあり、平成21年度に道路面と側溝の段差解消を目的に、側溝の入替え工事を、また昨年度は老朽化した側溝蓋の取り替えを行っていただきました。しかしながら、歩行空間の幅員が狭く未だに安全な通学路とはなっておらず、小学生等が危険な状態で通学している状況となっております。</p> <p>両地区とも冬期間には車道除雪による堆雪により、更に危険な状況となります。</p> <p>つきましては、新町交差点付近から城山保育園間及び野口町愛宕下地区の歩行スペースの確保について要望します。</p>	<p>新町交差点から城山保育園間及び野口町愛宕下地区の歩行スペースの確保については、平成24年度に実施した「通学路の緊急合同点検」の結果を踏まえ、貴町や地元・警察等と意見交換しながら、歩行者の安全確保の方法など交通環境改善の方策を検討していきます。</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>岩手土木センター</p>	<p>C</p>

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターの病床の存続について</p> <p>岩手県立沼宮内病院は、開設以来、長年にわたり地域医療の重要な拠点として、多大な貢献を果たしてきました。しかし、平成23年度に地域診療センターに移行後、町内の入院施設が皆無に近い状況となり、地域住民の医療に対する不安が増大しています。</p> <p>さらに、平成31年度内の開院を目指し計画が進められている岩手医科大学附属病院の矢巾町移転が実現すれば、県央北部と県央南部との医療バランスに不均衡が生じ、県北地域の住民にとっては、ますます生命を守る地域医療体制が大きく損なわれることが懸念されます。</p> <p>このような中で本町は、当該地域診療センターの民間移管に関して、一般入院ベットを確保するため関係法人と協議中ですが、諸般の事情により具体的な進展をみるに至っていない状況にあります。</p> <p>つきましては、本町においては、当初の目的達成に向け当該法人とより緊密に協議を続けるほか、新たな可能性の検討を行うことから、県におかれましても、盛岡広域圏北部における貴重な医療施設である岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センターを地域包括ケアシステムにおける慢性期病院に位置付けるなど、病床を存続若しくは復活に向けたご検討を早急にされるよう切に要望します。</p>	<p>沼宮内地域診療センターについては、危機的な医師不足の中、限られた医療資源のもとで良質な医療を提供するために病床を休止することとしたところですが、こうした状況については現在も変わらないものと認識しております。</p> <p>このため、病床を確保することは困難であり、現経営計画では、現行の体制を基本として、県立病院等相互の役割分担と連携により、地域医療提供体制の確保を図ることとしております。</p> <p>なお、岩手町が進めている民間移管に向けた取組みや新たな検討を行う場合には、引き続き医療局としても、必要な支援等連携を図って参ります。</p>	盛岡広域 振興局	経営企画部	C
<p>テレビ共同受信施設の施設改修への財政支援制度の創設について</p> <p>本町の山間部などテレビ電波の届きにくい地域では、テレビ放送を受信するために共同受信施設を整備し、組合組織として放送を受信してきました。今回の地上デジタル放送完全移行に際しては、国等による施策を活用し、共同受信施設の新設や既存施設の改修などの対策を講じてきました。</p> <p>しかし、既設の施設では最小限の改修しか行っていないため、組合の保有するケーブルや柱などの施設が老朽化しており、早急に改修が必要な状況となっておりますが、施設の改修費用が高額のため施設改修ができない状況となっております。</p> <p>つきましては、テレビ共同受信施設の維持管理費及び老朽化に伴う施設改修費に対する財政支援制度の創設について要望します。</p>	<p>テレビ共同受信施設組合の施設更新は全国的な課題であり、県では全都道府県で構成される地上デジタル放送普及対策検討会（平成27年度からは、全国都道府県情報管理主管課長会）を通じ、国に対し、維持管理費に対する新たな支援制度を創設すること、また、維持管理費を地元自治体が支援する場合にあっては地方財政措置を講じるよう要望をしてきたところです。</p> <p>平成28年度政府予算要望においても、県単独で要望を行ったほか、全国知事会を通じ要望する予定としています。</p> <p>県としても、今後、市町村と連携し、県内のテレビ共同受信施設組合の実情の把握に努めるとともに、引き続き、国に対し支援制度の創設について要望していきます。</p>	盛岡広域 振興局	経営企画部	B

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>薬草栽培にかかる乾燥調整施設整備に伴う支援について</p> <p>本町は、東北一の出荷額を誇るブランドキャベツ「いわて春みどり」をはじめとする野菜の総合産地であり、特に畑作農業については、長い歴史に支えられた豊富なノウハウと優れた生産者を擁する将来性のある産地であります。一方本町は、医療用漢方薬に用いる薬用作物の生産において全国有数規模の産地でもあり、生産者を束ね、(株)ツムラと連携する(農)岩手薬草生産組合の本拠を構えています。薬用作物は近年、需要増加により国内産地の拡充が期待されており、全量買取りにより安定収入が見込める農作物として特に注目を集めています。</p> <p>平成22年度から産地化に向けた各種支援を本格化し、平成24年度からは町単独で「薬草産地振興事業」を実施し、省力機械等の導入や新規・増反者の奨励金制度を支援するほか、平成26年度には経営所得安定対策において、水田転作作物に薬用作物を作付けた場合に支払われる産地交付金を、従来の10aあたり13,000円から40,000円に拡大しました。</p> <p>また本町と同組合、(株)ツムラは、定期的に情報交換会を開催するなど連携を深めており、密接に連携している八幡平農業改良普及センターには栽培技術等について支援をいただいています。</p> <p>現在、同組合は老朽化した町内2カ所の乾燥調製施設について、近年中に町内への移転新築を計画中であり、町では候補物件等について情報提供を行ってきました。</p> <p>つきましては、今後の移転新築の計画が具体化するよう、県においても特段のご配慮をお願いします。</p>	<p>薬草栽培は、本県の特に中山間地域の多様な立地特性や、農家が培ったきめ細かな熟練技術を生かせるとともに、契約栽培による今後の需要拡大と安定収入が期待できる有望品目と考えられます。</p> <p>県といたしましては、本県の薬草栽培の先駆けとして長年取り組んでこられた岩手町を今後とも支援していく考えであり、施設整備については、国庫補助事業の利用に向けた事業計画の策定等に協力していきます。</p>	盛岡広域振興局	農政部	B

岩手町

要望内容	取組状況(方針)	振興局名	担当所属名	反映区分
<p>県営農村地域防災減災事業（丹藤地区）に伴うご支援について</p> <p>本町丹藤地区に存するサイホン管は、昭和30年代に建設された土地改良施設であり、丹藤地区への用水の唯一の施設でもあります。</p> <p>丹藤地区は、県が指定する水稲種子採取ほ場が約7haあり、これらほ場への用水は必要不可欠であります。</p> <p>ところが、平成25年4月にこのサイホン管から大規模な漏水が発生し、農用地が崩落する事態に至りました。</p> <p>このため、応急的な止水対策を講じましたが、このままの状態にしておけば2次災害などの発生が危惧されるとともに、丹藤地区への用水確保の面からも重大な影響が懸念されることとなります。</p> <p>町では、地元水利組合との協議や盛岡広域振興局農政部農村整備室からの助言・指導のもと、当該施設の更新方法などについて議論を重ね、その後、県営事業としての実施可能性について県庁内部や東北農政局との検討が進められ、平成25～26年度には、国庫による調査も実施していただきました。</p> <p>そうした中、平成27年度農業農村整備対策予算の国からの配分額は、県の要望額を大きく下回っていると聞いており、県営事業採択への影響を憂慮しているところであります。</p> <p>従いまして、町といたしましても事業の推進につき県と協調して進めて参りたいと考えておりますので、引き続き採択に向けてご支援賜りますようお願いいたします。</p>	<p>漏水事故が発生した丹藤地区は、岩手オリジナル水稲品種「いわてっこ」の採種ほ場への唯一の用水源であることなどから、県としても早期の改修が必要と認識しているところであり、県営農村地域防災減災事業の採択に向け、平成25年度から調査計画を進めてきたところです。</p> <p>現在、県では、事業費の精査など、事業計画の策定を行っているところであり、今後も貴町の御協力をいただきながら早期の事業採択に努めていきます。</p>	<p>盛岡広域振興局</p>	<p>農政部</p>	<p>A</p>